

令和 7 年度 事業計画

公益財団法人 滋賀県緑化推進会

1 基本方針

当法人は、滋賀県における緑化事業の推進と緑化思想の高揚および「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」に基づく「緑の募金」を推進するため、県土の保全、水資源の確保ならびに県民の生活環境の整備および改善に資することを目的とした身近な森林・緑づくりなどの緑豊かな湖国づくりに関する諸事業を実施する。

また、公益財団法人として引き続き円滑な組織運営を確保し、透明性の高い効果的・効率的な事業運営を行う。

2 事業計画

(1) 森林・緑づくりの普及・啓発

ア 「緑の募金」運動 募金活動期間 春期 令和 7 年 4 月 1 日～5 月 31 日
秋期 令和 7 年 9 月 1 日～10 月 31 日

イ 緑化啓発コンクールの実施

ウ 緑化相談の実施

エ 募金活動等の総合的推進

オ 普及啓発活動の総合的推進

カ 「びわ湖水源のもりづくり関連イベント2025」への参画

(2) 身近な森づくりへの支援

ア ふれあいの森づくりへの支援

イ 学校林づくりへの支援

ウ 協働の森づくりへの支援

(3) 安全・安心なまちの緑づくりへの支援

ア 生活環境の緑づくりへの支援

イ 緑のまちづくりへの支援

ウ 淡海の巨木・名木次世代継承事業の推進

エ 桜の並木・森の造成等

オ 学校、福祉施設等の緑化

カ 平和の緑づくり事業

キ ゴルファーの緑化促進事業

ク 学校環境緑化モデル事業

ケ 天皇陛下ご下賜金記念植樹事業

(4) 次代のリーダー等の育成

ア 緑の少年団等の育成と活動強化

イ 森林・緑化活動団体等の活動への支援

ウ 企業等の緑化推進に関する研修の実施

エ 県との連携による企業等の森づくり・緑づくりの包括的サポート

(5) 国際的な緑化活動の実施

(6) 公正で開かれた組織運営と効果的な広報

収 支 予 算 書

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 31 日

(単位 千円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	5,140	2,620	2,520	
事業収益	40	40	—	
受取会費	810	810	—	
受取補助金等	5,100	4,550	550	
受取寄付金	50,269	51,550	△ 1,281	
雑収益	2	2	—	
経常収益計	61,361	59,572	1,789	
(2) 経常費用				
事業費	59,945	58,305	1,640	
管理費	1,416	1,267	149	
経常費用計	61,361	59,572	1,789	
(うち人件費)	16,720	16,220	500	
評価損益等調整前当期経常増減額	—	—	—	
評価損益等計	—	—	—	
当期経常増減額	—	—	—	
当期一般正味財産増減額	—	—	—	
一般正味財産期首残高	5,052	5,028	24	
一般正味財産期末残高	5,052	5,028	24	
II 指定正味財産増減の部				
受取寄付金	50,100	50,316	△ 216	
一般正味財産への振替額	△ 50,269	△ 51,550	1,281	
当期指定正味財産増減額	△ 169	△ 1,234	1,065	
指定正味財産期首残高	566,727	570,040	△ 3,313	
指定正味財産期末残高	566,558	568,806	△ 2,248	
III 正味財産期末残高	571,610	573,834	△ 2,224	

収 支 予 算 書 内 訳 表

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 31 日

(単位 千円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1 経 常 増 減 の 部					
(1) 経 常 収 益					
基 本 財 産 運 用 益	2,570	—	2,570	—	5,140
事 業 収 益	40	—	—	—	40
受 取 会 費	810	—	—	—	810
受 取 補 助 金 等	5,100	—	—	—	5,100
受 取 寄 付 金	50,269	—	—	—	50,269
雑 収 益	2	—	—	—	2
経 常 収 益 計	58,791	—	2,570	—	61,361
(2) 経 常 費 用					
事 業 費	59,945	—	—	—	59,945
管 理 費	—	—	1,416	—	1,416
経 常 費 用 計	59,945	—	1,416	—	61,361
(うち人件費)	15,883	—	837	—	16,720
評価損益等調整前当期経常増減額	—	—	—	—	—
評 価 損 益 等 計	—	—	—	—	—
当 期 経 常 増 減 額	—	—	—	—	—
当期一般正味財産増減額	△ 126	—	126	—	—
一般正味財産期首残高	1,934	—	3,118	—	5,052
一般正味財産期末残高	1,808	—	3,244	—	5,052
II 指定正味財産増減の部					
受 取 寄 付 金	50,100	—	—	—	50,100
一般正味財産への振替額	△ 50,269	—	—	—	△ 50,269
当期指定正味財産増減額	△ 169	—	—	—	△ 169
指定正味財産期首残高	566,727	—	—	—	566,727
指定正味財産期末残高	566,558	—	—	—	566,558
III 正味財産期末残高	568,366	—	3,244	—	571,610

資金調達および設備投資の見込みについて

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 31 日

1 資金調達の見込みについて

なし

2 設備投資の見込みについて

なし

令和6年度事業報告

公益財団法人 滋賀県緑化推進会

1 基本方針

当法人は、滋賀県における緑化事業の推進と緑化思想の高揚および「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」に基づく「緑の募金」を推進するため、県土の保全、水資源の確保ならびに県民の生活環境の整備および改善に資することを目的とした身近な森林・緑づくりなどの緑豊かな湖国づくりに関する諸事業を実施した。

2 事業実績

(1) 森林・緑づくりの普及・啓発

ア 「緑の募金」運動

市町緑化推進委員会、緑化推進会各地区担当、各種団体、企業などの協力により、感染症拡大防止に配慮しながら、家庭募金、街頭募金、職場募金、企業募金、学校募金および篤志募金などの募金活動を進め、企業および職場等への募金箱の設置、企業に募金協力を呼び掛けるダイレクトメール等の送付等による募金活動を展開した。

活動期間 春期 令和6年4月1日から5月31日まで

秋期 令和6年9月1日から10月31日まで

実績額 39,061,104円

イ 緑化啓発コンクールの実施

第24回「森林・緑と水といのち」写真コンクールおよび「緑の募金・緑化推進」標語コンクールを実施した。また、全国育樹活動コンクール、全日本学校関係緑化コンクール、国土緑化運動・育樹運動ポスター原画募集等への参加を促した。

ウ 緑化相談の実施

イベント主催者や県民からの要請に応じ、随時、花木、緑化樹木等に関する相談に応じた。

エ 募金活動等の総合的推進

市町緑化推進委員会が行う募金活動およびこれに基づく森づくりや緑化の推進に関する事業に係る運営費、事務費等に対して助成し、募金活動、森づくりや緑化の推進に関する事業の総合的な推進を図った。

オ 普及啓発活動の総合的推進

機関紙「湖国『緑の募金』」（3,200部）および「びわ湖緑の少年団」（7,400部）を発行し、緑の募金と緑化の啓発を行った。

カ 「びわ湖水源のもりづくり関連イベント2024」への参画

滋賀県が近江富士花緑公園で実施した「水源の森オータムフェスタ」に参加し、募金および広報啓発活動を行った。

(2) 身近な森づくりへの支援

琵琶湖を取り巻く森林を健全に育成し水源かん養や生物多様性機能を高めたり、森林・林業への理解促進と参画意識の啓発を目的として、里山などにおける身近な森づくり活動を支援した。

ア ふれあいの森づくりへの支援 栗東市ほか4市町 7箇所 5.60ha

イ 学校林づくりへの支援	大津市ほか2市	7箇所	7.87ha
ウ 協働の森づくりへの支援	3団体	3箇所	64.36ha

(3) 安全・安心なまちの緑づくりへの支援

ア 生活環境の緑づくりへの支援

生活環境をより一層潤いのあるものにするため、緑化苗木 4,565本を配布し、県内 269箇所の自治会広場および学校等の公共施設において県民の協力により植栽を行い、地域の生活環境の緑化を図った。

イ 緑のまちづくりへの支援

公共施設等において緑化啓発および記念行事等として行われる植樹で、緑化の啓発効果が著しく期待できるものに対して、緑化苗木を7箇所に配布した。

ウ 淡海の巨木・名木次世代継承事業の推進

人々の心の支えやまちの顔あるいは地域の誇りとなっている樹木に必要な手当をすることにより、次世代に継承していくことを目的として、県内2箇所の巨木・名木の樹勢回復事業に助成するとともに、「巨木・名木治療研修会」を実施した。

エ 桜の並木・森の造成等

県民の安らぎと憩いの場をつくり、国の花「さくら」に多くの県民が一層親しめるよう県内の企業2社から、ソメイヨシノ、神代アケボノおよびヤマザクラの苗木 330本の寄贈を受けて、県内9市町12箇所の公園等に配布し、環境緑化を図った。

オ 学校、福祉施設等の緑化

県内の企業からの苗木 105本の寄贈を受けて、県内の学校、福祉施設等に配布し、環境緑化を図った。

カ 平和の緑づくり事業

県内の企業から有料レジ袋収益金の寄付を受けて、県内1箇所の認定こども園にシンボルツリーとして緑化樹木（県の木：モミジ）を配布するとともに、緑化樹木周辺にクロマツ、サルスベリ、クヌギ等を植栽した。また、木育玩具も寄贈した。

キ ゴルファーの緑化促進事業

公益社団法人ゴルフ緑化促進会からの緑化協力金によりケヤキおよび神代アケボノ7本を「陶芸の森」に植樹したほか、近隣ゴルフ場においてマツクイムシ防除のためマツ5本に樹幹注入を行った。

ク 学校環境緑化モデル事業

国土緑化推進機構が「ローソン緑の募金」の協力を得て実施する学校環境緑化モデル事業として、県内1つの中学校および1つの小学校が採択され、交付金の助成決定を受けた。

(4) 次代のリーダー等の育成

ア 緑の少年団等の育成と活動強化

(ア) 緑の少年団の育成支援

緑の少年団を育成するため、50団体に対して活動装備の整備および活動費の助成を行った。また、3つの新規団体の結成を支援した。

(イ) 緑の少年団サポート事業

緑の少年団の適正かつ効果的な活動を促進するため、県内8箇所で49団体への指導者集団指導を行った。また、4団体に対して個別指導を行った。

(ウ) 緑の少年団地区交流会の開催

緑の少年団の育成・交流を図るため、県内 5 地区で交流会を開催した。

(エ) 緑の少年団活動発表交流会の開催

緑の少年団の育成・交流を図るため、県内 5 団体が参加し自然観察や活動発表を行う交流会を開催した。

(オ) 緑の幼年団育成強化事業

就学前の子どもやその保護者を対象に自然体験活動を行っている N P O 団体に対して、活動費の助成を行った。

イ 森林・緑化活動団体等の活動への支援

地域において緑化等の活動を行っている 9 団体および日本ボーイスカウト滋賀連盟に対して、活動費の助成を行った。

ウ 企業等の緑化推進に関する研修の実施

事業所等における緑化樹木の適切な維持管理方法について、樹木医の協力を得て団体、企業等に対して研修会を実施した。

エ 県との連携による企業等の森づくり・緑づくりの包括的サポート

滋賀県と連携・役割分担し、森づくりや緑づくりと関わりたい企業等をサポートする体制づくりを検討した。また、森林・緑づくりによる脱炭素・生物多様性等の実現や、森林空間の活用などにつながる具体的な方策について研究した。

(5) 国際的な緑化活動の実施

滋賀県と関係が深い国との森林または緑づくりに関する親善交流イベントや植樹活動等を実施する団体が無く、実施しなかった。

(6) 公正で開かれた組織運営と効果的な広報

当法人の業務運営の透明化および適正化を図るために、ホームページやフェイスブックにおいて新着情報を随時掲載し情報公開の推進を図った。また、ラジオ等様々な広報媒体を積極的に活用して情報発信を行った。

効果的な事業展開に向けて、近畿地区緑化推進協議会に参画するとともに、全国緑化推進委員会連絡協議会等で情報収集を行い、今後に向けた検討を行った。

正味財産増減計算書

自 令和 6 年 4 月 1 日
至 令和 7 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
I 一般正味財産増減の部			
1 経 常 増 減 の 部			
(1) 経 常 収 益			
基 本 財 産 運 用 益	4,392,698	2,649,967	1,742,731
事 業 収 益	40,000	40,000	—
受 取 会 費	800,000	800,000	—
受 取 補 助 金 等	5,599,000	4,560,000	1,039,000
受 取 寄 付 金	42,550,666	45,342,869	△ 2,792,203
雑 収 益	232,340	215,632	16,708
経 常 収 益 計	53,614,704	53,608,468	6,236
(2) 経 常 費 用			
事 業 費	52,177,608	52,353,389	△ 175,781
管 理 費	1,415,205	1,233,260	181,945
経 常 費 用 計	53,592,813	53,586,649	6,164
(うち人件費)	16,376,710	15,123,480	1,253,230
評価損益等調整前当期経常増減額	21,891	21,819	72
評 価 損 益 等 計	—	—	—
当 期 経 常 増 減 額	21,891	21,819	72
他 会 計 振 替 額	—	—	—
当期一般正味財産増減額	21,891	21,819	72
一般正味財産期首残高	5,050,203	5,028,384	21,819
一般正味財産期末残高	5,072,094	5,050,203	21,891
II 指定正味財産増減の部			
受 取 寄 付 金	39,224,777	40,841,347	△ 1,616,570
一般正味財産への振替額	△ 42,550,666	△ 45,342,869	2,792,203
当期指定正味財産増減額	△ 3,325,889	△ 4,501,522	1,175,633
指定正味財産期首残高	570,728,183	575,229,705	△ 4,501,522
指定正味財産期末残高	567,402,294	570,728,183	△ 3,325,889
III 正味財産期末残高	572,474,388	575,778,386	△ 3,303,998

正味財産増減計算書内訳表

自 令和 6 年 4 月 1 日
至 令和 7 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1 経 常 増 減 の 部					
(1) 経 常 収 益					
基 本 財 産 運 用 益	2,196,698	—	2,196,000	—	4,392,698
事 業 収 益	40,000	—	—	—	40,000
受 取 会 費	800,000	—	—	—	800,000
受 取 補 助 金 等	5,599,000	—	—	—	5,599,000
受 取 寄 付 金	42,550,666	—	—	—	42,550,666
雑 収 益	230,942	—	1,398	—	232,340
経 常 収 益 計	51,417,306	—	2,197,398	—	53,614,704
(2) 経 常 費 用					
事 業 費 用	52,177,608	—	—	—	52,177,608
管 理 費	—	—	1,415,205	—	1,415,205
経 常 費 用 計	52,177,608	—	1,415,205	—	53,592,813
(うち人件費)	15,547,710	—	829,000	—	16,376,710
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 760,302	—	782,193	—	21,891
評 価 損 益 等 計	—	—	—	—	—
当 期 経 常 増 減 額	△ 760,302	—	782,193	—	21,891
他 会 計 振 替 額	658,000	—	△ 658,000	—	—
当期一般正味財産増減額	△ 102,302	—	124,193	—	21,891
一般正味財産期首残高	2,048,613	—	3,001,590	—	5,050,203
一般正味財産期末残高	1,946,311	—	3,125,783	—	5,072,094
II 指定正味財産増減の部					
受 取 寄 付 金	39,224,777	—	—	—	39,224,777
一般正味財産への振替額	△42,550,666	—	—	—	△ 42,550,666
当期指定正味財産増減額	△ 3,325,889	—	—	—	△ 3,325,889
指定正味財産期首残高	570,728,183	—	—	—	570,728,183
指定正味財産期末残高	567,402,294	—	—	—	567,402,294
III 正味財産期末残高	569,348,605	—	3,125,783	—	572,474,388

貸 借 対 照 表

令和 7 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現金預金	6,132,035	8,527,024	△ 2,394,989
前払金	—	72,109	△ 72,109
未収金	500,000	—	500,000
流動資産合計	6,632,035	8,599,133	△ 1,967,098
2 固 定 資 産			
(1)基 本 財 産			
定期預金	—	70,000,000	△ 70,000,000
投資有価証券	503,176,467	431,468,919	71,707,548
普通預金	28,423,533	30,131,081	△ 1,707,548
基本財産合計	531,600,000	531,600,000	—
(2)特 定 資 産			
退職給与積立預金	4,995,120	4,377,396	617,724
緑の募金積立預金	35,631,890	37,669,020	△ 2,037,130
平和の緑づくり積立預金	170,404	1,459,163	△ 1,288,759
特定資産合計	40,797,414	43,505,579	△ 2,708,165
固定資産合計	572,397,414	575,105,579	△ 2,708,165
資産合計	579,029,449	583,704,712	△ 4,675,263
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
未払金	887,827	2,732,668	△ 1,844,841
前受金	483,000	511,000	△ 28,000
預り金	189,114	305,262	△ 116,148
流動負債合計	1,559,941	3,548,930	△ 1,988,989
2 固 定 負 債			
退職給与引当金	4,995,120	4,377,396	617,724
固定負債合計	4,995,120	4,377,396	617,724
負債合計	6,555,061	7,926,326	△ 1,371,265
III 正味財産の部			
1 指 定 正 味 財 産			
出 捐 金	410,000,000	410,000,000	—
寄 付 金	157,402,294	160,728,183	△ 3,325,889
指定正味財産合計	567,402,294	570,728,183	△ 3,325,889
(うち基本財産への充当額)	(531,600,000)	(531,600,000)	(—)
(うち特定資産への充当額)	(35,802,294)	(39,128,183)	(△ 3,325,889)
2 一 般 正 味 財 産	5,072,094	5,050,203	21,891
正 味 財 産 合 計	572,474,388	575,778,386	△ 3,303,998
負債及び正味財産合計	579,029,449	583,704,712	△ 4,675,263